

平成22年度 小松市決算のあらまし



財政のすがたを明解に

市の財政のしくみは、複雑でことばも難しく、決して分かりやすいとはいえません。

そこで、私たちに身近なサービスのためにどのようにお金が使われているのか、小松市の財政はどのような状態なのかを市民の皆さんに知っていただくために、平成22年度の小松市の決算の情報をもとに、分かりやすく説明します。



平成22年度決算の特徴

景気の低迷により、市税収入の落ち込みが続く中で、小中学校の耐震化を集中的に進めたほか、市制70周年を記念した様々な交流事業を行いました。

また、超長寿化社会に伴う社会保障費の増加や市債の返済がピーク期を迎えていますが、経費の節減、市債発行の抑制に努めた結果、全会計の市債残高を約19億円圧縮することが出来ました。



もくじ

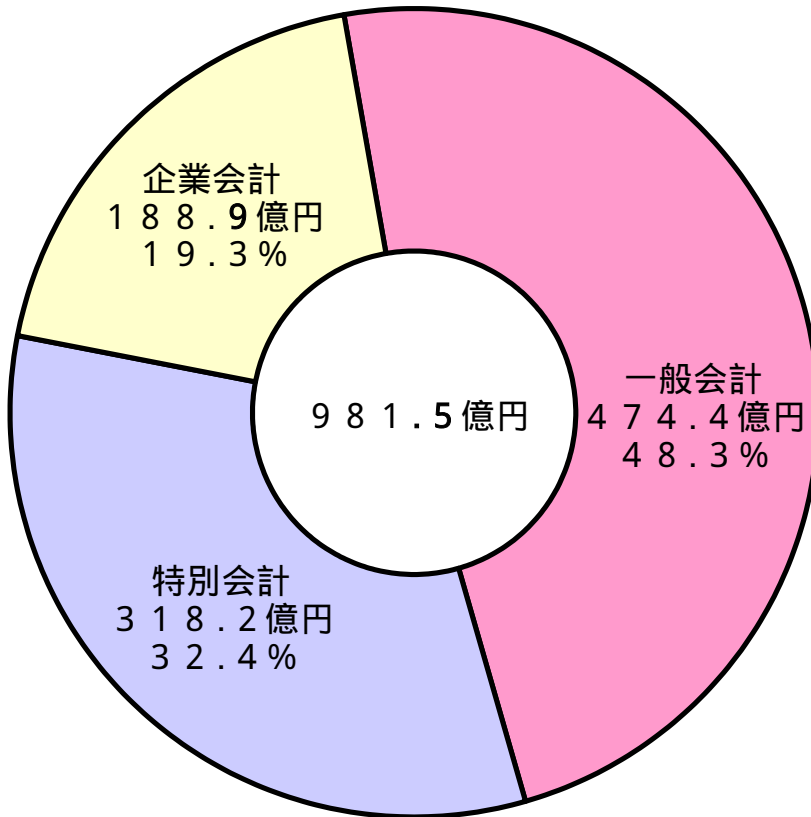
1年間でいくらお金を使ったの？	1ページ
何にお金を使ったの？	2ページ
一般会計の内訳は？	2ページ
主な収入の内容を教えてください	3ページ
主な支出の内容を教えてください	4ページ
支出の分野別の使い道は？	5ページ
特別会計・企業会計の内訳は？	7ページ
借金はいくらあるの？	8ページ
小松市の財政の水準は？	9ページ



小松市イメージキャラクター『カブッキー』



1年間でいくらお金を使ったの？



市民1人当たり
905,653円

メモ

小松市全体では981.5億円のお金が使われました。これを、平成23年3月31日現在の小松市の人口108,375人で割ると、市民1人当たり905,653円のお金が使われたこととなります。平成21年度決算に比べて市全体では33.5億円増えていますが、これは子ども手当の創設や小中学校耐震化のための施設整備などによるものです。

また、市の会計は、仕事の目的や種類によって、大きく3つに分かれています。

一般会計・・・税金などを使って、福祉、教育、道路や公園の整備、ごみ処理など、市の基本的な仕事をする会計。

特別会計・・・国民健康保険、介護保険、農業集落排水など、特定の事業をするために、一般会計とは別に、保険料や使用料などの特定の収入によって運営する会計。平成22年度、小松市には9会計ありました。

企業会計・・・公共下水道や病院、水道など、民間企業のように料金収入などで運営する会計。平成22年度、小松市には3会計ありました。

行政の仕事は広範多岐にわたるので、特定の事業の会計を分けることによって、収支を明確にしています。

一般会計の内訳は・・・



2ページへ

特別会計・企業会計の内訳は・・・

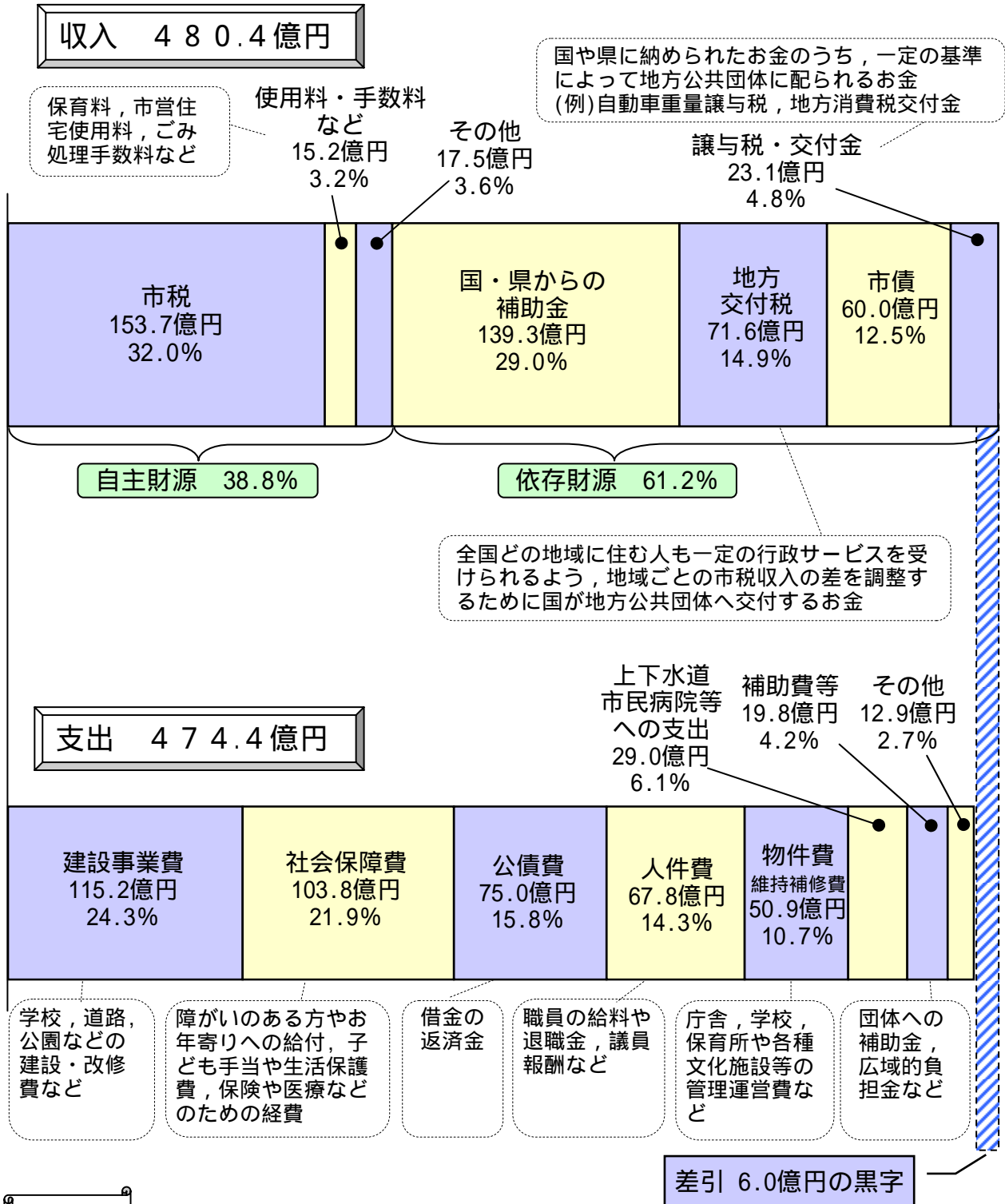


7ページへ



何にお金を使ったの？

一般会計の内訳は？




メモ

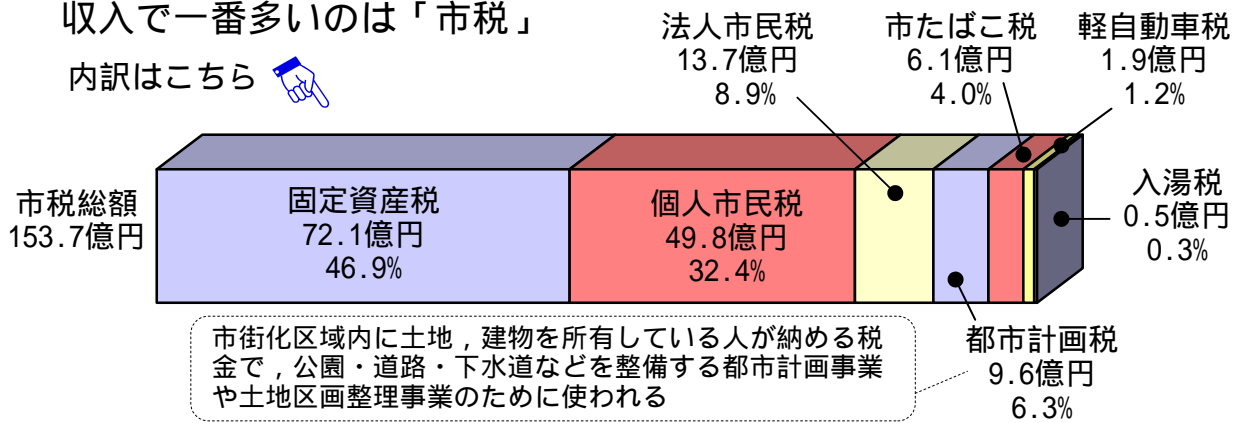
平成22年度の決算額は、平成21年度に比べ約35億円増えました。主な理由は、子ども手当の創設や小中学校の耐震化を集中的に進めたためです。

収入から支出を差し引いた形式的な収支は6.0億円の黒字となっていますが、そのうち1.4億円は、平成22年度中に終わらなかった事業を翌年度に繰り越して使うため、その分を差し引いた実質的な収支は4.6億円の黒字となります。

主な収入の内容を教えてください

収入で一番多いのは「市税」

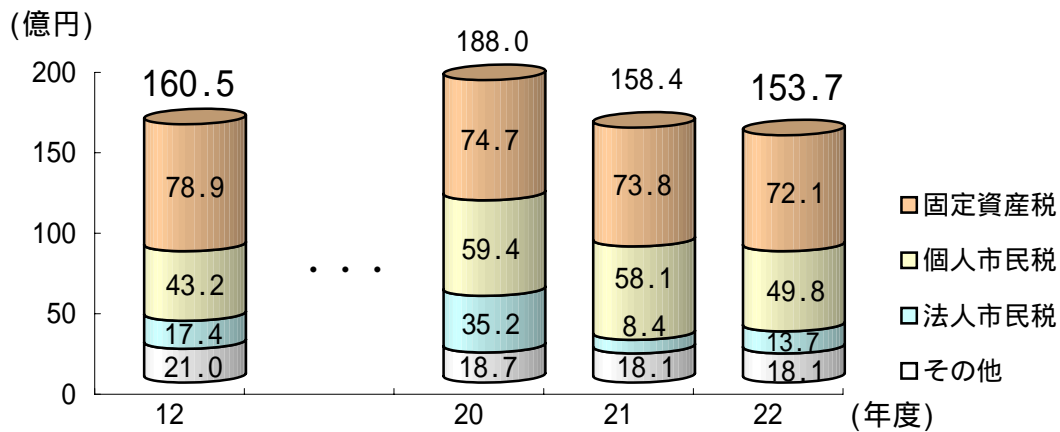
内訳はこちら 



メモ

収入の中で一番大きな割合を占めている市税ですが、平成22年度は法人市民税が回復したものの、個人市民税が落ち込んだため、平成21年度決算と比べると4.7億円減っています。

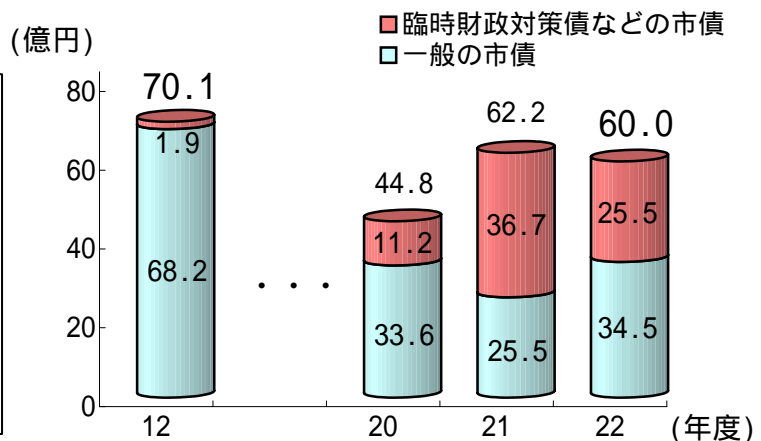
下のグラフは、10年前と直近3年の市税の状況を示しています。平成20年度は市税総額で180億円を超えていましたが、平成20年秋以降の景気後退の影響を受け、平成21年度以降は10年前以下の水準まで落ち込んでいます。



借金（市債）の借入は減少

メモ


1年間に借金をする額は、10年前に比べ、近年は減少傾向ですが、平成22年度は市営川辺町住宅の建て替えや小中学校耐震化の推進など、建設事業費が伸びたため、平成21年度に引き続き、発行額が60億円を超えました。

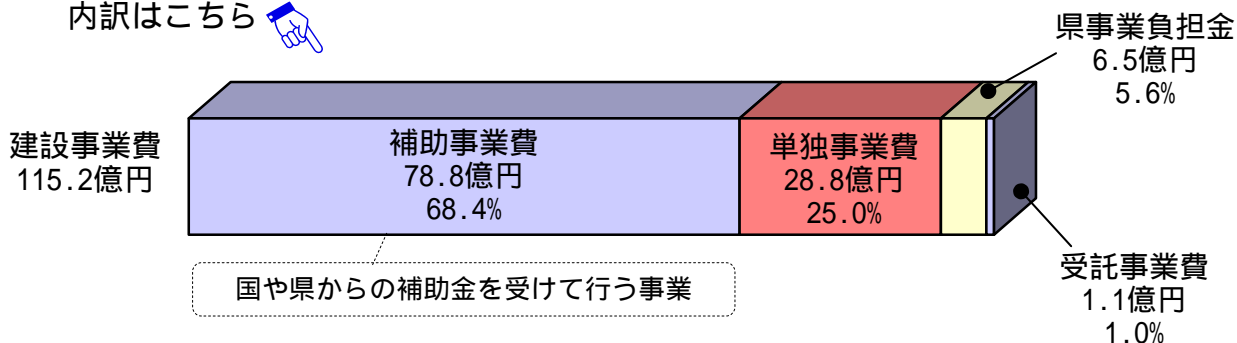


臨時財政対策債：本来、国から地方交付税としてもらえるはずのお金について、国の予算不足の穴埋めとして市が発行する借金

主な支出の内容を教えてください

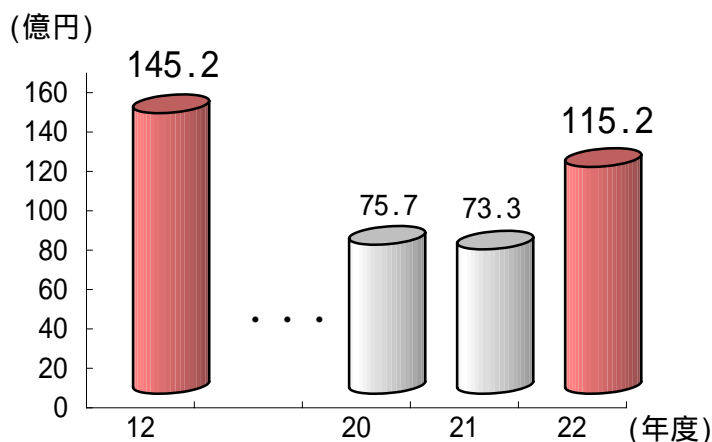
支出で一番多いのは「建設事業費」

内訳はこちら 

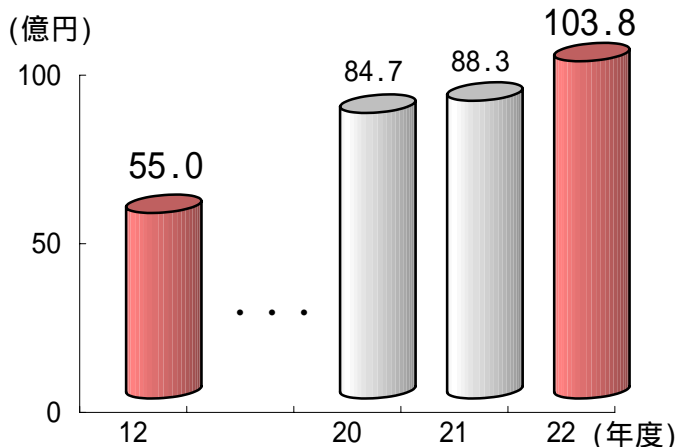


メモ

建設事業費は、駅周辺整備事業などを行っていた10年前に比べて30億円減っています。しかし、平成22年度は学校施設の耐震化を集中的に進めたほか、市営川辺町住宅の建て替えや大杉みどりの里の整備などにより、平成21年度と比べると41.9億円の増加となりました。



社会保障費も増加



メモ

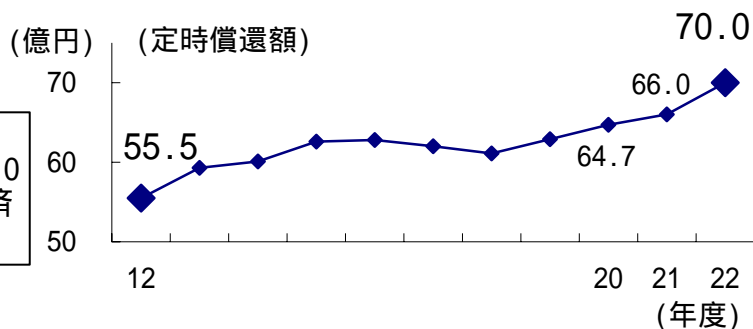
平成22年度の社会保障費は、子ども手当の創設等により、平成21年度と比べ15.5億円の増加となりました。

少子化、超長寿化が進む中、社会保障費は年々増え続け、10年前と比べると2倍近くにまで増えており、社会保障に要する経費は今後も伸び続ける見込みです。

借金の返済（公債費）は高い水準のまま

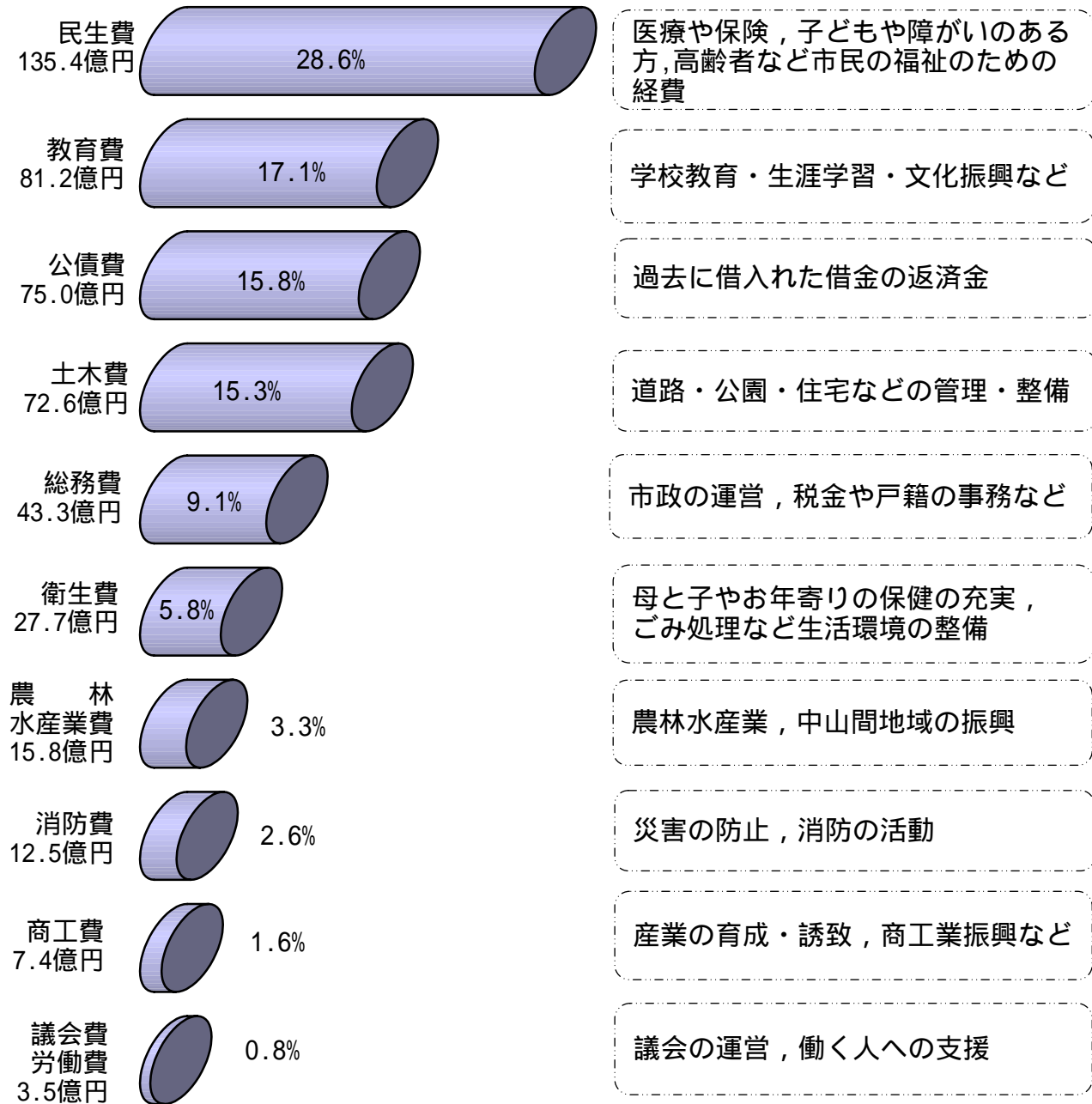
メモ

平成22年度は前年度より4.0億円増加し、ここ数年は返済のピーク期となっています。



支出の分野別の使い道は？

支出 474.4億円



メモ

分野別では、福祉にかかる経費である「民生費」に一番多くのお金が使われています。主な使い道は、保育所や学童クラブの運営、子ども手当の支給、障害者やお年寄りの施設入所費などです。平成22年度は、小中学校の施設整備の増加等により、教育費が3番目から2番目になっています。

()内は、市民1人当たりの支出額、矢印は対前年度増減を示す

1位 民生費 135.4億円 (124,923円) ↗

保育所の運営	38.1億円
子ども手当や学童クラブ運営など	28.3億円
障害者支援のための事業 ・施設入所費，障害者手当など	15.0億円
生活保護の支給	8.4億円
障害者・小児医療費の助成など	5.0億円
老人福祉のための事業 ・老人ホーム入所費，在宅支援など	4.3億円

5位 総務費 43.3億円 (39,972円) ↓

職員人件費や市庁舎の管理など	20.9億円
税金の収納事務や戸籍事務など	5.2億円
広報の発行，国際交流事業など	5.0億円

2位 教育費 81.2億円 (74,904円) ↗

小・中学校の改築，耐震化など	45.5億円
小・中・高等学校の管理	10.0億円
図書館・博物館の運営など	9.8億円
体育施設の運営・整備など	4.0億円

6位 衛生費 27.7億円 (25,568円) ↓

ごみ処理などの環境対策	9.0億円
市民病院への繰出金	6.7億円
斎場・墓地の管理・整備	6.2億円
健康診断や予防接種など	3.7億円
水道事業への繰出金	0.8億円

7位 農林水産業費 15.8億円 (14,619円) ↓

農業の振興，土地改良事業など	13.3億円
林道の管理・整備や造林など	2.3億円

3位 公債費 75.0億円 (69,207円) ↗

借金の返済（市債の定時償還）	70.0億円
将来負担の軽減（市債の繰上償還）	5.0億円

8位 消防費 12.5億円 (11,489円) ↗

消防団活動，救急車など消防施設の整備，防災対策など

4位 土木費 72.6億円 (67,025円) ↗

公共下水道事業への繰出金	19.8億円
道路の管理，整備	14.5億円
公園や街路などの都市計画事業	14.2億円
市営住宅の管理・建設	13.8億円
飛行場・基地周辺対策 ・基地周辺道路の整備など	8.2億円

9位 商工費 7.4億円 (6,863円) ↓

融資などの金融対策	3.2億円
商工業の振興	2.9億円
観光の振興	1.2億円

10位 議会費・労働費 3.5億円 (3,214円) ↓

市議会の運営	3.3億円
労働者団体や就労の支援など	0.2億円

市民1人当たりの支出額 = 各分野の決算額 ÷ 平成23年3月31日現在の人口 (108,375人)

特別会計・企業会計の内訳は？

特別会計（9会計）

（単位：億円）

会計名	収入	支出	差引	事業内容
国民健康保険	106.57	106.57	-	自営業者や退職者などの医療保険
介護保険	82.55	82.00	0.55	施設介護，在宅介護等の保険
後期高齢者医療	10.04	10.02	0.02	広域連合による75歳以上の医療保険
老人保健	0.12	0.12	-	過年度老人医療費の精算
交通災害共済	0.04	0.04	-	交通災害見舞金の支給
簡易水道	0.30	0.30	-	小集落への給水事業
農業集落排水	4.11	4.11	-	農業集落の汚水処理施設管理・整備
工業団地造成	1.08	1.08	-	串地区工業団地の分譲
公債管理	113.93	113.93	-	借金の返済管理
合計	318.74	318.17	0.57	

企業会計（3会計）

（単位：億円）

会計名	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	差引	収入	支出	差引
水道	25.97	24.85	1.12	1.21	9.31	8.10
公共下水道	26.49	31.24	4.75	35.72	45.90	10.18
市民病院	72.42	67.66	4.76	5.40	9.92	4.52
合計	124.88	123.75	1.13	42.33	65.13	22.80



企業会計のしくみ

企業会計には2つの財布があります。

収益的収支・・・事業を運営するために1年間にかかった経費と収入を管理する財布。事業の黒字・赤字はこの財布の中身を見れば分かります。

資本的収支・・・事業の運営とは別に，施設の建設や設備投資の収支をやりくりする財布。借金の借入・返済もこの財布で管理しています。

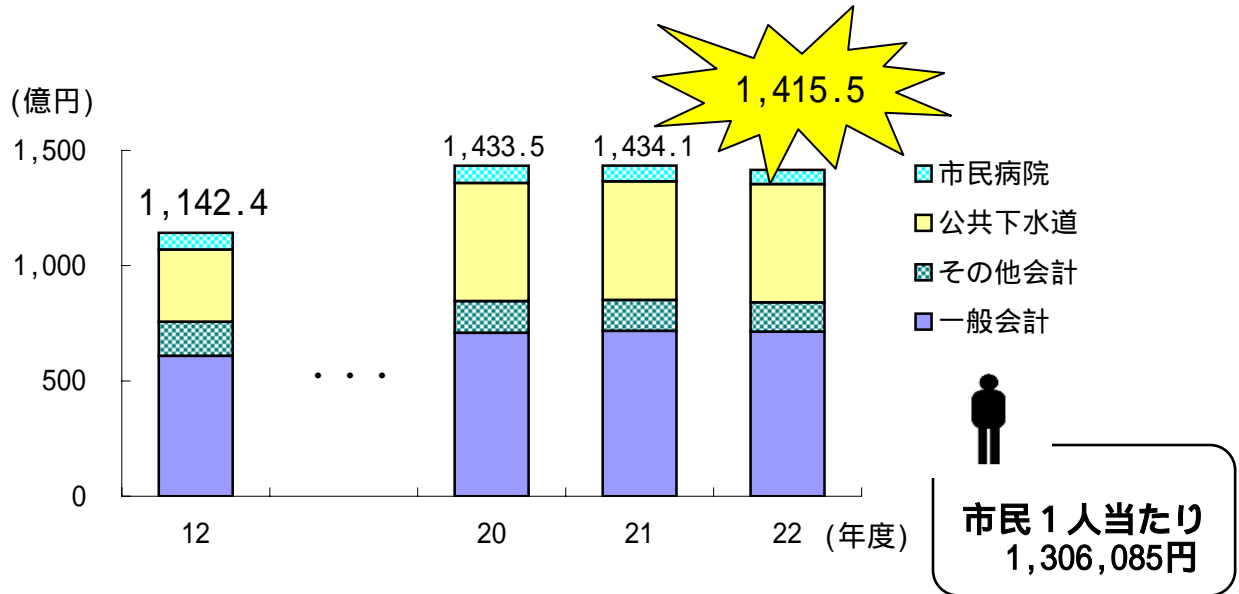
このほかに，企業会計には内部留保資金というものがあります。内部留保資金とは，純利益や現金支出の伴わない費用から生じるものです。上の表では，資本的収支が赤字になっているように見えますが，不足分は内部留保資金で補っています。



借金はいくらあるの？

小松市の借金残高は、これまで増え続けてきましたが、市債発行の抑制や借金の繰上返済を行うことで、平成22年度末では、全会計でようやく減少に転じました。

前年度に対し 約19億円減少し、全会計で 1,415.5億円となりました。今後とも、将来を担う子どもたちのために、借金残高を減らしていく必要があります。



実質公債費比率って何？



実質公債費比率とは、標準財政規模（市税などの経常的な収入）に対する公債費（借金の返済金）の割合で、数値が大きいほど借金返済の負担が重いことをあらわしています。通常、3カ年の平均値を使用します。

公共下水道や道路の整備など、これまで進めてきた社会資本整備のための借金の返済がピーク期を迎えたことで、実質公債費比率は平成20年度から22年度の3カ年平均で18.2%となり、平成23年度より市債の発行には県知事の許可となりました。

実質公債費比率は下記の方法で算定されます。

$$\text{実質公債費比率} = \frac{(\text{公債費}) - (\text{地方交付税で補てんされる額})}{(\text{標準財政規模}) - (\text{地方交付税で補てんされる額})}$$

（公債費）とは、一般会計の公債費に公営企業の公債費への一般会計繰出金や一部事務組合の公債費への負担金などの公債費類似経費を加えたものです。

18%未満の団体...県知事との協議により市債を発行

18%以上の団体...県知事の許可を受け市債を発行

25%以上の団体...「早期健全化団体」となり、「財政健全化計画」の策定が義務付け

35%以上の団体...「財政再生団体」となり、「財政再生計画」の策定が義務付け



小松市の財政の水準は？

平成22年度の普通会計決算を、全国の類似都市や県内の都市と比べてみましょう。

類似都市:人口と産業構造(産業別就業人口の構成比)により、同じ区分に分類された都市。平成22年度の類似都市は、小松市を含めて20団体

佐野市(栃木県)、桐生市(群馬県)、青梅市(東京都)、白山市(石川県)、各務原市(岐阜県)、富士宮市・焼津市(静岡県)、瀬戸市・半田市・刈谷市・江南市・小牧市・東海市(愛知県)、桑名市(三重県)、彦根市(滋賀県)、守口市・大東市・門真市(大阪府)、新居浜市(愛媛県)、小松市

普通会計:地方公共団体ごとに会計の分類が異なる場合があるため、一定の基準で比較できるようにした、統計上の会計区分

市民1人当たりの支出額

小松市	437,331円	小松市の順位
類似20都市平均	349,442円	第2位
県内10市平均	496,548円	第7位

市民1人当たりの借金残高

小松市	658,509円	小松市の順位
類似20都市平均	310,095円	第2位
県内10市平均	704,374円	第6位

財政力の強さ(財政力指数)

小松市	0.759	小松市の順位
類似20都市平均	0.933	第16位
県内10市平均	0.544	第2位

財政力指数
必要な財源をどれだけ自力で調達できるかを表す指数。数値が大きいほど財政力が強い。

収入に対する借金返済の割合(実質公債費比率)

小松市	18.2%	小松市の順位
類似20都市平均	8.5%	第2位
県内10市平均	16.0%	第5位

実質公債費比率
収入額のうち借金の返済に使った金額の割合。数値が大きいほど借金返済の負担が重い。

財政の弾力性(経常収支比率)

小松市	91.6%	小松市の順位
類似20都市平均	88.7%	第8位
県内10市平均	91.2%	第5位

経常収支比率
市税などの経常的な収入に対する経常的な経費の割合。数値が大きいほど財政の弾力性が低い。

収入に対する借金残高の割合(将来負担比率)

小松市	216.3%	小松市の順位
類似20都市平均	66.0%	第1位
県内10市平均	132.0%	第1位

将来負担比率
収入額に対する市債などの負債残高の割合。数値が大きいほど将来支払う負債の残高が多い。

類似都市と比べると...

小松市は、類似都市や県内10市と比較して、収入に対する借金残高の割合を表す将来負担比率が非常に高い水準になっています。今後はまちを発展させ、税収を確保するとともに無駄を無くすことで、借金を減らしていくことが重要な課題です。

もっと詳しく
知りたい方は...

小松市ホームページの
財政課のページをご覧ください。

発行 平成23年10月 小松市総合政策部財政課
〒923-8650 石川県小松市小馬出町91番地
TEL 0761-24-8144(直通)
FAX 0761-24-8190
メール zaisei@city.komatsu.lg.jp
ホームページ <http://www.city.komatsu.lg.jp/zaisei/index.html>

